

京 図

きょうと

京都市図書館情報誌

ものがたり

関西から



文化力

POWER OF CULTURE

図書館に行ってみよう!

vol.27

平成23年11月発行



特集

OPEN YOUR BOOK AT PAGE 4, 5 PLEASE



京都市中央図書館

30周年

中央図書館開館

あなたの好奇心に答える

目次

- 2 3 インタビュー 「図書館と私」
一本の魅力, 図書館の思い出
京都市中央図書館長 中西 進
- 4 5 特集 中央図書館開館30年のあゆみ (後編)
- 6 図書館の特色紹介 伏見中央図書館
- 7 図書館小特集 清水の舞台から飛び降りた人って本当にいるの??
~右京中央図書館, レファレンスサービスのご案内~
- 8 利用者の声 私のおすすめの本
- 8 編集後記 京都市図書館開館 30 周年を迎えて

図書館と私

夜の長いこの時季は、読書をするのにぴったりな季節です。
今回は京都市中央図書館長で万葉学者の中西進館長に「本の魅力」「図書館の思い出」について語っていただきました。



■子どもの頃の館長と本との出会いのエピソードを教えてください。

小学生の頃は、当時大流行した英雄・偉人伝を読みふけていました。

私は強度の近視に、長い間悩まされてきました。小学校に入った時の身体検査で、既に0.03を宣告されてしまった程でした。とにかくひどいので、人に言う時は「何しろ夜寝る時も眼鏡をかけていないと、夢が見えないんですよ」と言うことにしています。中には「それは、お気の毒ですね」と同情してくれる人もいます。ちなみに両親、兄弟だれひとり近視のものはいません。そこでいつも母親がいつていたことがありました。「おまえは小学校へ入る前、ふともにもぐりこんで本ばかり見ていたね。あれがよくなかった」という小言でした。記憶はありますが、ごく大きな字の絵本だったといつも心の中で反抗していました。

しかし本が大好きな小学生だった事は良く覚えています。当時大はやりだったのは英雄・偉人伝で、たくさん買ってもらっては読みふけていました。その中に※佐藤今までは講義を聞かなかった先生には罪悪感を持っていましたが、今後は図書館にも負い目を負うことになってしまいました(笑)。それにしても、この図書館の周りの植込みには春には沈丁花のいい香りが溢れていました。その辺りに座り込んで友人と何時間も文学論を戦わせたことが授業よりも数倍楽しかった。このような「遊学」(?)の中で、恩師※久松潜一先生と出会いました。といつても久松先生は文学部の先生で、教養課程でお教えられることはできませんで



京都市中央図書館 中西進館長

信淵や※青木昆陽の伝記があった事が、一番頭に残っています。

悲しい思い出もあります。買ってもらうとうれしくて片時も手から離したくない。そこでもう何度も読んだのに学校に持っていきたくなりました。それは講談社から出ていた少年講談の一冊で、たしか「真田十勇士」ではなかったかと思いますが、学校へ行き、机の抽斗に入れては出し、出しては入れし眺めていました。ところが下校の時に、物をランドセルに入れようとすると「あっ、本がない!」泣きべそをかきながら、担任の先生に訴えました。

すると先生が仰いました。「本のことはオレは知らんけど、中西よなあ、そんな物は学校に持つてくるな」話はそれで終わります。

中学校では図書室に足しげく通いました

長じて中学生になった時の感激の最大のものは中学校に立派な図書室があったことです。あるわあるわ。ぎっしりと書棚に本が詰まって、漫々と本の洪水が漲っていました。実は俳人の中島斌雄先生を日本女子大にお訪ねした時に偶然、こちらへも出講しておられた久松先生にお目にかかりました。

やがて文学部に進学し、久松先生の講義を受講し短歌会の顧問をしていただくうちに「この先生以外に卒業論文を見ていただく先生はいない」と確信しました。生涯を決定したこの「確信」はわたしの生涯の幸福感と結びついて今日に到っています。

読書の時間は孤独なもの、だからこそ図書館はリラックスできる雰囲気づくりが大切

以後大学院を終えるまでほとんど図書館を利用したことはありませんでした。一、二度足を運びましたが、教養学部時代の(あの、雑誌を教室等で無断貸借した)図書館とは大違いで、だだっ広くて森閑としていて、やたらと無表情に本が並んでいました。大学院生は書庫に入る事が許されていますので、ここにも一、二度入りましたが、今度はかび臭くて陰気で、冥界のごとき印象がありました。ここにいたら自殺するしかないと思つて、あわてて飛び出してきました。

なにしろ、この後深く付き合うことになる日本古代の文学は、賑やかで暖かい人間味に満ちています。歓びも悲しみも共有して生きていますね。それにふれるにつけてますます「わび・さび」の世界が縁遠くなつていった様に思います。

それにつけても思うのですが、図書館という場所はある程度明るくて華やいでいる方がいいのではないのでしょうか。本を読むというのはもちろん孤独な世界に入るのだ

した。たちまち虜(こぼ)となった中学生は足しげく図書室に通うことになりました。

ただ、そこでも一番の思い出が吉川英治の『宮本武蔵』の通読。ですからレベルは知れています。この学校では週末にだけ本の貸出しがありました。もちろん私は読みかけの『宮本武蔵』を借りたい。当時は、土曜日が午前中の授業だけ、全校生徒運動場での終礼で一日半の休暇に入りました。終礼の終わりは教頭先生の「解散」のかけ声で、それを聞くや否や、生徒はわれ勝ちに図書室へ飛び込みます。もちろん私は『宮本武蔵』の書架の前に陣取る。先生に鍵のかかったケースを開けてもらうと、さっと手を出して一冊を取り出します。

貸出し手続を終えて帰途につく中西少年の自画像の何と晴れやかなことか。

館長が万葉学者になられたきっかけはどの様なことですか。またどの様な大学生生活を過ごされたのでしょうか

大学では図書館の周りの植込みで友人と何時間も文学論を戦わせ、そして遊学の中、恩師と出会いました。大学の図書館にもよく足を運びました。しかしこの思い出にも邪道のものもとても記憶に残っています。それは大学一年生の時だったのでないかと思いますが、田宮虎彦の『足摺岬』が雑誌「世界」に発表されたことを知ると、早速図書館へ出掛けて「世界」を借り出して、授業中に講義も何も聞かずに熱中してしまいました。(今突然に雑誌を館外持ち出しできたのかどうか、もしかしてルール違反だったのかと思います。多分違反だと思えます。)

から、できるだけ気持ちを取りラックスさせる雰囲気が必要でしょう。

快い音楽が流れるともなく流れている方がよいというのが私の持論です。

「遊び読み」の自由な気持ちで心を活発にする

とかく私のような職業の人間は、書籍を利用することが多く、本を楽しむことは二の次になってしまいます。しかし本を楽しむ事からヒントを得たことは無数にあります。

だから「遊び読み」という造語もしたいです。遊び読みの自由な気持ちで心を活発にし、思わぬ発見に到ることは多いに違いないですね。

ここまでお話ししてきて、ふと気付くと蒲団にもぐり込んだ読書から教室での盗み読みまで、どうも私の読書は邪道をきわめているように思います。

これも「遊び読み」のひとつかもしれないと思つて、お許し願います。

注 ※佐藤信淵：江戸後期の経済学者。独特の日本中心主義の世界哲学を構築。著書に「経済要録」「混同秘策」等。

青木昆陽：江戸中期の儒学者、蘭学者。著書「蕃語考」は凶荒下の享保19(1734)年將軍徳川吉宗に嘉納され、翌年刊行。種芋と共に配布され、薩摩芋は諸国に普及。世間では甘藷先生と呼ばれた。

久松潜一：(明治27年生、昭和51年没)大正・昭和期の国文学者。昭和11年東京帝大教授、のち慶大教授。国学、「万葉集」、和歌史、評論史など、文学理念の追求を軸とする体系的研究はあらゆる分野に及んだ。「文学評論史」など編著多数。

【新潮日本人名辞典】より

京都市中央図書館 30年のあゆみ

後編

平成8年～
平成22年



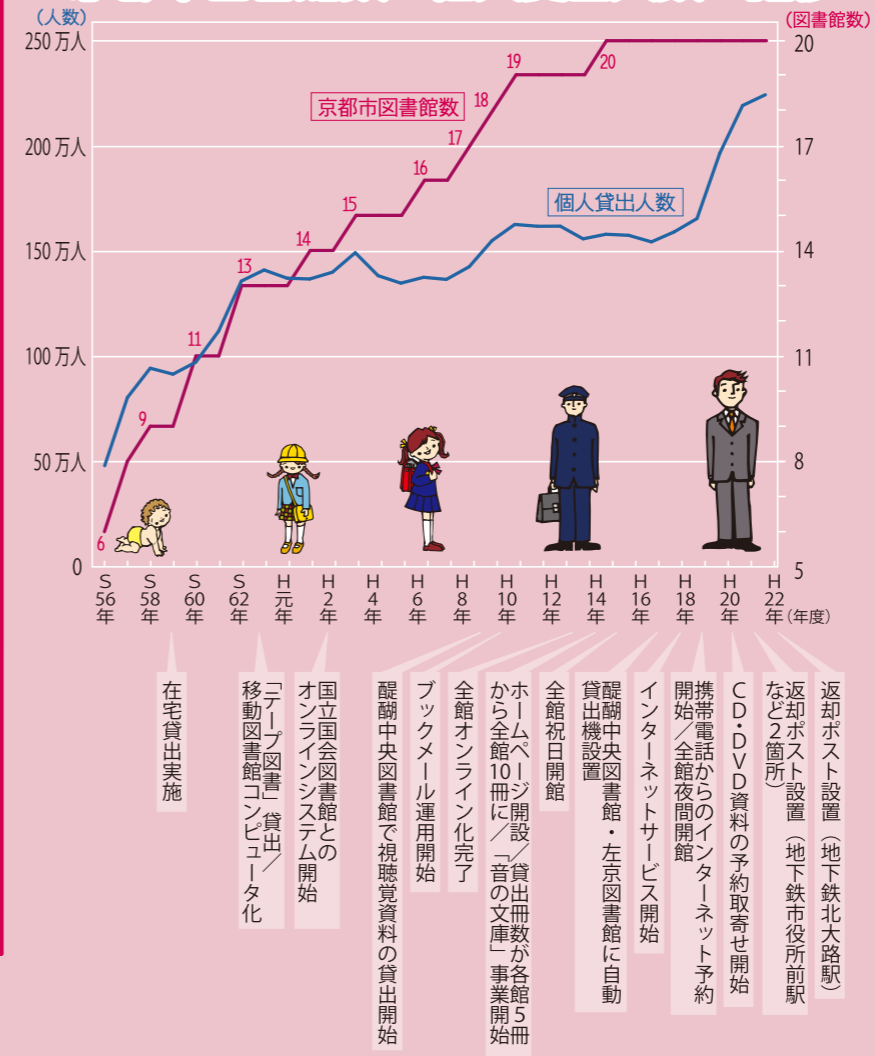
当時のヒット曲

- 平成8年 名もなき詩 (Mr.Children) 珍島物語 (天童よしみ)
- 平成9年 CAN YOU CELEBRATE? (安室奈美恵) 硝子の少年 (Kinki Kids)
- 平成10年 Automatic (宇多田ヒカル)
- 平成11年 LOVE マシーン (モーニング娘。) 孫 (大泉逸郎)
- 平成12年 桜坂 (福山雅治)
- 平成13年 Dearest (浜崎あゆみ)
- 平成15年 世界に一つだけの花 (SMAP)
- 平成16年 Jupiter (平原綾香)
- 平成18年 粉雪 (レミオロメン)
- 平成19年 千の風になって (秋川雅史)

年	この年よく読まれた本	できごと	京都市図書館のできごと
平成8年 1996	「超」勉強法 / 野口悠紀雄 弟 / 石原慎太郎	たまごっちブーム アトランタオリンピック	
平成9年 1997	失楽園 / 渡辺淳一 少年H / 妹尾河童 鉄道員 (ぼっぼや) / 浅田次郎 <small>1999年映画化 雪深い廃鉱の終着駅を守る年老いた鉄道員。</small>	「酒鬼薔薇」事件 香港、中国返還 ダイアナ元イギリス皇太子妃 交通事故死	醍醐中央図書館開館 同館にて視聴覚資料の貸出開始
平成10年 1998	大河の一滴 / 五木寛之 「歎異抄」の心を現代に問う衝撃の告白的メッセージ。 ダディ / 郷ひろみ レディ・ジョーカー / 高村薫	長野冬季オリンピック 明石海峡大橋完成 映画「タイタニック」アカデミー賞 11部門受賞	久世ふれあいセンター図書館開館 図書運搬システム ブックメール運用開始
平成11年 1999	五体不満足 / 乙武洋匡 沈まぬ太陽 / 山崎豊子	携帯電話番号 11 桁化 欧州連合加盟国でユーロ通貨導入	左京図書館移転開館 こどもみらい館子育て図書館開館
平成12年 2000	だから、あなたも生きぬいて / 大平光代 話を聞かない男、地図が読めない女 / アラン・ピーズ ハリーマンと賢者の石 / J.K. ローリング <small>魔法学校1年生のハリーマンは、緑の目に黒い髪、そして額には稲妻型の傷。</small>	介護保険制度スタート 祝日法改正、ハッピーマンデー 制度導入	左京図書館夜間・祝日 開館実施 (地域館初)
平成13年 2001	チーズはどこへ消えた? / スペンサー・ジョンソン 「迷路」の中に住み、「チーズ」を探す二人と二匹の物語。 声に出して読みたい日本語 / 齋藤孝	アメリカ同時多発テロ 田中耕一、ノーベル化学賞受賞	下京図書館移転開館 「京・ライブラリーネット」 (全館オンライン化計画) 完了 20周年記念式典開催
平成14年 2002	生きかた上手 / 日野原重明 世界がもし100人の村だったら / 池田香代子	USJ (ユニバーサルスタジオジャパン) オープン ソルトレーク冬季オリンピック 小泉純一郎新内閣発足、支持率80%超	ホームページを開設 貸出冊数の改定 (各館5冊から全館10冊に) 「音の文庫」事業開始
平成15年 2003	バカの壁 / 養老孟司 世界の中心で、愛をさけぶ / 片山恭一 祇園の教訓 / 岩崎峰子	六本木ヒルズ、オープン 映画「千と千尋の神隠し」アカデミー賞受賞 イラク戦争	全館祝日開館を実施 コミュニティプラザ深草 図書館開館
平成16年 2004	蹴りたい背中 / 綿矢りさ 13歳のハローワーク / 村上龍 大好きなことを職業として考えてみませんか? <small>「好き」を入口に 514種の職業を紹介。</small>	綿矢りさ(当時19歳)、 金原ひとみ(当時20歳) 芥川賞受賞 「冬のソナタ」ほか韓流ブーム アテネオリンピック	
平成17年 2005	問題な日本語 / 北原保雄 編 野ブタ。をプロデュース / 白岩玄 生協の白石さん / 白石昌則 <small>東京農工大学の学生の皆さん</small>	日本国際博覧会「愛・地球博」開催 JR 福知山線脱線事故	醍醐中央図書館・左京図書館 に自動貸出機設置
平成18年 2006	国家の品格 / 藤原正彦 東京タワー / リリー・フランキー この話は、かつてそれを目指すために上京した オトんと、ボクと、オカンのちいさな話です。 恋空 / 美嘉 <small>人気ケータイ小説</small>	秋篠宮家に41年ぶりの男子の 皇族、悠仁さま誕生 トリノ冬季オリンピック	インターネットサービス開始

年	この年よく読まれた本	できごと	京都市図書館のできごと
平成19年 2007	女性の品格 / 坂東眞理子 ホームレス中学生 / 田村裕 一瞬の風になれ / 佐藤多佳子	エキスポランドジェットコースター事故 郵政民営化 石川遼選手、史上最年少優勝(15歳)	自動音声応答サービス、携帯電話 からのインターネット予約開始 ホームページをリニューアル (音声読み上げ対応) 全館夜間開館実施
平成20年 2008	夢をかなえるゾウ / 水野敬也 流星の絆 / 東野圭吾 おひとりさまの老後 / 上野千鶴子	ノーベル物理学、化学賞、 日本人4人受賞 第44代アメリカ大統領にバラク・オバマ当選 北京オリンピック	右京中央図書館開館 CD・DVD資料の予約取寄せ開始
平成21年 2009	1Q84 / 村上春樹 告白 / 湊かなえ「愛美は事故で死んだのではありません。このクラスの生徒に殺されたのです」 わが子を亡くした女性教師、終業式のHRの「告白」。	裁判員制度スタート	返却ポスト設置 (地下鉄市役所前駅、京北自治振興会 図書室)
平成22年 2010	もし高校野球の女子マネージャーが ドラッカーの「マネジメント」を読んだら / 岩崎夏海 ゲゲゲの女房 / 武良布枝	チリ鉱山落盤事故 バンクーバー冬季オリンピック	返却ポスト設置 (地下鉄北大路駅)

京都市図書館数・個人貸出人数の推移



流行語いろいろ

- H8 アムラー
- H10 老人力
- H11 カリスマ店員
- H12 おっはー
- H13 ちよい不良オヤジ
- H14 ふっちゃけ
- H15 マニフェスト
- H16 勝ち組 / 負け組
- H18 メタボリックシンドローム
- H20 アラフォー
- H20 婚活
- H21 草食(系)男子
- H21 歴女
- H22 イクメン
- H22 山ガール

アムラー (歌手・安室奈美恵のファッションを真似してなりきるファンのこと)、おっはー (「おはよう」の短縮形。SMAPの香取慎吾がバラエティ番組で使い流行した)、メタボリックシンドローム (略して「メタボ」。内臓脂肪型肥満に加えて、高血糖、高血圧、脂質異常のうちいずれか2つ以上をあわせもった状態) 歴女 (特に戦国武将) が好きな女性)、イクメン (積極的に子育てを楽しむ男性)、山ガール (ファッションナブルなアウトドアウェアを着用し、山登りを楽しむ女性)
参考文献 『暮らしの年表 / 流行語 100 年』 講談社

いつでも…全館夜間開館、全館祝日開館の実施
 どこでも…以前は来館しないとできなかった予約等を、HPを開設し自宅や外出先からパソコンや携帯電話で資料の予約等ができるサービスの実施
 だれでも…障害のある方への在宅貸出や、パソコンを使用されない方にも電話で貸出延長等ができる音声応答サービスの開始
 この様なサービスの結果入館される方も増え、個人貸出人数・貸出冊数ともに増加傾向にあります。また蔵書回転率は政令指定都市の中でもトップクラスです。
 図書館では今後も新しいサービスを積極的に取り入れ、生活に役立つ図書館をめざします。

地域情報の発信拠点を狙って

～伏見には 水がある 蔵がある 図書館がある～

伏見中央図書館は、昭和62年、京都市南部の中核図書館として、「水と緑と温もりでひらく都市—伏見」に開館し、今年で25年目になります。

開館以来、地域情報の発信拠点として、伏見コーナーの設置、伏見関連の講演会等の催し、地域の小学校などへの出張講座等に入力してきました。

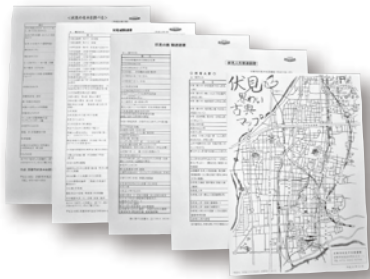


伏見コーナー

文禄3年(1594年)、豊臣秀吉が伏見城を築城、城下町として発展。水陸交通路にも恵まれ、酒造業をはじめとして商工業都市としてその後も発展し、昭和4年に伏見市として市制を施行した歴史の街・伏見。

当館ではより深く伏見を知っていただくために伏見に関する資料を集めた「伏見コーナー」を設置しています。

多くの方がお調べになりたい分野の「伏見城」「伏見の名水」「伏見の酒」「伏見人形」などの図書をリストにしているほか、文学作品の中から伏見を舞台にしているものを取り上げ、名所地図にまとめた「伏見界わい古典マップ」も作成し、館内でお渡ししています。



「伏見界わい古典マップ」他

伏見の資料を収集しています

伏見に関しての情報をまとめられたり、市販されない図書などを発行された場合は、是非、伏見中央図書館にご一報ください。

伏見酒蔵界隈講演会

伏見の地域情報を発信する場として、平成19年度から、月桂冠昭和蔵ホールで、毎年秋に「伏見酒蔵界隈講演会」を開催しています。その際には関連する図書の展示や資料のリスト配布も併せて行っています。

第1回は「酒づくり文化からみる伏見の歴史」、第2回以降「伏見城、向島城、淀城からみる秀吉・家康時代の伏見の歴史」、「新撰組や坂本龍馬を通してみる幕末の伏見の歴史」、「開業100年を迎えた京阪、近鉄などの鉄道からみる伏見の歴史」をテーマとし、毎回伏見区内外から多くの方にご参加いただいています。

今年は、11月5日に、「伏見の水辺を活かす一疏水・高瀬川・濠川・七瀬川」という演題で、西尾信廣氏(京都環境計画研究所所長)を講師に迎え、豊かな伏見の水辺環境をどのように生活に取り入れるかについて講演していただきました。

子どものための催し

これから成長していく子どもたちには、是非とも読書の楽しさを知ってもらいたいものです。その足がかりとして図書館では、毎月、絵本コーナーで「赤ちゃん絵本こんにちは」や「おたのしみ会」を行っています。また司書が直接、小学校や幼稚園、保育所に出向いて「読み聞かせ」を行う催しも大変人気があります。

一方で子どもの読書環境のすそ野を広げるため、学校などと連携して伏見区の学校図書館ボランティアに「絵本の読み聞かせ講座」や「図書の修理等講座」を行ったり、伏見区内の市民ボランティア研修で「紙芝居の演じ方講座」を行ったりもしています。



図書の修理講座

その他の事業

- えのひろば
(幼稚園、小学校の園児や児童の絵画作品の展示)
- 大人向け講座「朗読会」の開催
- 「この本読んでみませんか」(利用者のおすすめ本)の発行
- 「読書感想文コンクール」文集発行
(伏見区内図書館との共催)
- 「こぎつね通信」(児童図書室だより)の発行
- 被災地の新聞「岩手日報」「河北新報」「福島民報」の提供

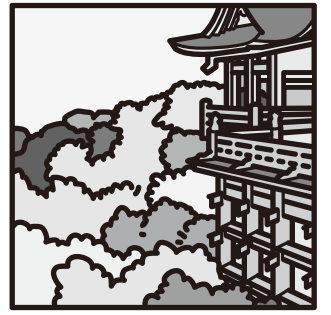


大人向け講座「朗読会」

知るは楽し 本とのであい あなたの町の図書館です

伏見中央図書館は、大人も子どもも、図書館を通じてさまざまな情報を得られる、市民の生活に役立つ図書館を目指しています。

清水の舞台から 飛び降りた人って本当にいるの？



京都市右京中央図書館

レファレンスサービスのご案内

図書館では、図書館の資料やデータを使って、調べものや探しもののお手伝いをする「レファレンスサービス」を行っています。右京中央図書館では、市内の図書館のレファレンスサービスの中心として、日々みなさまからのさまざまな質問をお受けしています。今回は、そんな一例をご紹介します。



「あの一清水寺のことについて調べたいのですが…。検索機で検索してみたのですが、たくさん出てきて、どの本を見たらいいのかわからなくて。」

ある日のレファレンスデスクでのことです。お客さまに声を掛けられました。確かに、検索機で“きよみずでら”と検索すると何十件も出てきてしまいます。清水寺の何を調べたいのかによって探す資料、書架が違ってきます。どんなことをお調べなのか訊ねてみましょう。



「歴史ですか、それとも美術や建築ですか。」



「いえ、あの舞台のことなんです。清水の舞台。」



「舞台ですか。舞台の高さや面積でしょうか。それなら…。」



「いえ、実は、清水の舞台から飛び降りる、と言いますよね。実際に飛び降りた人がいたと聞いたのですが、本当なのかと思って。こんなこと調べられるのでしょうか。」



なるほど。こちらが想像した質問とは全く違っていました。内心びっくりしながらも調査開始です。お寺関係の資料のある書架に行き、清水寺に関する資料を探します。質問内容からして写真主体でなく、文章主体の資料の方に記載がありそうです。また、“清水寺”だけでなく、“清水”や“舞台”といった言葉を掛け合わせて事務用のコンピュータで検索します。

その結果、『ガイドブック清水寺』（横山正幸著 法蔵館）に、江戸時代の記録が一部載っており、元禄年代の7年間で23人、文政・天保年代の12年間で19人いたことがわかりました。性別・年齢・生死なども書かれていました。

また、『京都の不思議』（黒田正子著 光村推古書院）に“清水の舞台から飛び降りた人は本当にいる？”という項目があり、当時は“飛び降り”ではなく“飛び落ち”という言葉を使っていたことや、“飛び落ち”事件のすべての記録が、清水寺の学芸員である横山正幸氏によって自費出版されたことが記されていました。

そこで横山氏の著書を調べてみたところ、『実録「清水の舞台より飛び落ちる」』（横山正幸編著・発行）にまとめられていました。

そこには、清水寺の塔頭、成就院の日記に記録された“舞台飛び落ち”事件のすべてが収録されており、日時や名前、住所や身分、状況などが細かに記されていました。元禄7(1694)年以降171年間のうち148年分の記録から、未然引留めを含めて234人が飛び落ちており(2度飛び落ちた女性も!)、男性161人・女性63人・不明9人、下は12歳から上は80歳まで、20歳代が77人と最も多くなっています。なお、飛び降りる理由は、単なる自殺志願ではなく、命を懸けて観音様に祈願し、願いが叶えられれば存命するという清水観音信仰が背景にあったからだとされていました。

以上の3冊をお客さまにお渡ししました。

このように、自分で検索機を使ってみただけよくわからない、探している本・情報が見つからなかった場合などは、お気軽にレファレンスデスクの職員にご相談下さい。京都大百科事典ゾーンにある豊富な京都関係資料や参考図書、時にはインターネットも駆使して、みなさまの質問・疑問を解決するためのお手伝いをさせていただきます。みなさまのご利用をお待ちしています。



◆ 中京区 M.Oさん (無職)

なぜ人はあるものに熱中し溺れていくのか。
『ウィルバーフォース氏のヴィンテージ・ワイン』
の主人公にとって、それはワインだった。健康も
恋人も金も失い破滅に至る過程が現在から過去へ
逆戻しに描かれ、沈痛な思いになる。全てを捨て
ても獲得したいという情熱の激しさに生と死のせ
めぎ合いを感じた。その時どきの選択がここまで
人生を変えるのかと驚く。平凡な人間には恐ろし
いが理解できる。暗いストーリー展開を作者は皮
肉っぽくユーモラスに語っているのが救いだった。



テーマ



「私のおすすめの本」
お気に入りの本、
教えてください



◆ 伏見区 加藤 美樹さん (主婦)

私のおすすめの本は『江 (上・中・下)』(田淵
久美子原作)です。

大河ドラマが始まる前に読みました。歴史好き
なこともあり、江というたくましい女の一生に感動
しました。この時代に出てくる色々な登場人物と
共に楽しく読みました。又、TV と違って自分でイ
メージを膨らませながら読むことができました。

このように毎週図書館に興味深い本は予約をし、
本を借りに出かけています。生涯学習を目標に、
一生本を読み続けていきたいと思っています。



◆ 南区 森田 恵理子さん (学生)

私が小学生の時に出会った、斉藤洋さんの児童文学
作品、『ルドルフとイッパイアッテナ』は黒猫ルドル
フと教養ある猫イッパイアッテナの笑いあり、涙あり
の友情と成長の物語です。子供の頃は単におもしろい
話としてしか思っていなかったけれど、大人になって
読み返してみると、学ぶこと、助け合うこと、相手を
尊敬することの大切さを個性豊かであったいいキャラ
クター達から教えられました。将来子供が出来たら、
読んであげたいと思っています。



◆ 山科区 石田 和己さん (学生)

私の好きな本のジャンルはミステリーです。

その中でも日常のちょっとした謎を扱った本が大
好きです。そんな私がおすすめしたいのは大崎梢
さんの「配達あかずきん」。ミステリーと書店の日
常を掛け合わせた話五話からなります。舞台が書店
であるだけに本にまつわる話が豊富です。

また、私たちがあまり知らない書店の仕事に至る
ところで垣間見ることもできます。この本を読んで
以来、書店の見方が変わったように思います。



◆ 伏見区 沢広 ゆみ子さん (主婦)

本に関わる言葉を書名の中に見つけると、つい手
が出てしまいます。『図書室からはじまる愛』(パドマ・
ヴェンカトラマン著)は第2次大戦時イギリス支配
下のインドが舞台です。主人公15歳の少女は独立
運動で悲劇にみまわれ、父の実家に身を寄せます。
古い慣習のもとで、女性には禁じられた図書室にそ
と通り、様々な本を通じて勇気を得、自らを成長さ
せていきます。ガンジーの「非暴力」が物語に大き
く関わり、崇高なものと出会ったような印象深い作
品でした。



京図ものがたり vol.27

発行
平成23年11月

編集・発行
(公財) 京都市生涯学習振興財団・京都市中央図書館
〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町 9-2
TEL 075-802-3133
<http://www.kyotocitylib.jp/>
<http://www.kyotocitylib.jp/i/>



子どもを共に育む
京都市民憲章



社会のあらゆる場で実践し、
行動の輪を広げましょう!

「京都市図書館開館三十周年を迎えて」
この30年の間に、図書館の数も増え、視聴覚資料の
貸出が始まり、他の図書館の資料を取り寄せて借り
られるように、ブックメールによる資料の運搬がは
じまり、インターネットで資料の予約ができるよう
になるなど、図書館にとって、激動の30年でした。よ
り良いサービスへと変化はありましたが、皆様にと
しても身近に、必要な資料を役立てていただきたい
という気持は変わりません。これからも、変わるべき
ものと、変わらないものを見定めて、身近な役立つ図
書館であり続けたいと思います。(S)

インターネットサービスが始まったのが5年前。
今や予約の本がご用意できたことをお知らせする方
法がメールという方が電話やFAXの2倍以上にな
り、予約本を置く棚も増えてきました。これからも
図書館は時代の流れと共に発展し、お役に立てる様
に努力が大切だと改めて思います。(K)

図書館のあゆみ後半の年表は、前半よりもりだ
くさん。この数年で今まで以上に便利になったこと
がいくつか載せたいことがたくさんあります。こと
泣く泣く(?) カットしたことも。せひ、前号と合
わせて、図書館の30年を家族の年表と比べてみて
ください! 図書館のこれから年表も、これまでで
以上に楽しいこと・嬉しいことで盛りだくさんにして
いきたいと思います。(T)

編集◆後◆記